

地域の伝統を

つないでいく



東川登小3年（東川登町）
西之川 冬吾さん



東川登町袴野で百年以上続いている伝統芸能「面ぶ立」に去年初めて参加しました。

授業で「面ぶ立」について調べたとき、地域全体で「面ぶ立」を支え、守っていくという袴野の力を強く感じました。そして実さいに練習すると、面の重さにびっくりしたけど、細かい動作も熱心に教えてもらい、踊ることは決してかん単ではないと知りました。

これからは、この袴野で大切にされている「面ぶ立」をほくも大切にしていきたいと思っています。

武雄在住の友人から言われた「都会のテンションのまま田舎で働ける人を探している。どう？」という言葉がキッカケで、気づいたら半年後に移住していました。

武雄の魅力は新旧が混沌とした、いい意味での中途半端さ。まだまだ伸び代のある街だと思っています。

わが家で開催する女子会の参加者も移住組と地元生まれの方と半々くらい。美味しいものをいただきながら新しいつながりが結ばれる時間が楽しくて。ライフワークとして続けていきたいですね。

武雄と出会い

縁を育む



長井自動車整備工場（山内町）
長井典子さん



離れて分かる

ふるさとの良さ



環境省（武雄町出身）
山崎庸弘さん

武雄を離れ10年、今は東京で仕事に育児に奮闘中です。

私にとってこの10年は、北海道での大学生活、東京での就職・結婚・子ども誕生と、変化の多い10年でした。

外から見て、故郷の良さを再認識した10年でもありました。テレビで図書館の特集を目にしたたり、住みたい田舎ランキングに選ばれたり：武雄は「いい感じ」に進化しています。

この春、私はUターン就職で武雄に戻ります。武雄とともに「いい感じ」に進化していきたいよう頑張りたいと思います。

